新型コロナウイルス感染症に関する対応基準等について

2022 年 9 月

公益社団法人調布市体育協会

「調布フットサル大会」開催にあたり，新型コロナウイルス感染症への対応について，関係機関の対応方針に即して以下の基準で対応いたします

なお，各関係機関が今後発出する方針等に応じて，適時取扱いを見直します。

１ 開催に当たっての基準

開催に当たっては，公益財団法人日本スポーツ協会が定めるガイドライン，各関係機関の対応方針及び本基準に従い，実施します。

（１）開催可否の判断（中止又は延期）

１）緊急事態宣言が発出された場合

２）東京都が自粛要請など，何らかの要請を発出した場合

３）調布市の対応方針の中でイベントの自粛が要請された場合

※上記内容による緊急の場合は，申込後や当日に中止判断となる場合があります。調布市・公益社団法人調布市体育協会で協議の上，開催可否の判断をいたします。

２ 開催時における留意点

開催時の感染防止策について，公益財団法人日本スポーツ協会の各種指針や専門家会議提言等に基づき，参加者が安全・安心に参加できるよう，その運営に当たり留意すべき事項を定めます。

各事項については，主催者だけでなく，参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組むこととします。

（１）基本事項

１）新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を遵守すること。

２）日頃から，マスクの着用，手洗いの徹底，アルコール等による手指消毒，ソーシャルディスタンス，「３つの密」を避けての行動など，感染防止対策を実践すること。

３）日頃から，睡眠，食事をしっかりとり，生活リズムを整えるなど体調管理に配慮するとともに，スポーツ活動を行う前に必ず自身の体調チェックを行うこと。

（２）参加申込にあたり

参加者は感染拡大防止のため，下記事項の遵守をお願いします。

下記事項を遵守できない場合，他の参加者の安全を確保する観点から，参加資格の取り消し，または途中退場を求める場合があります。

① 以下の事項に該当する場合は，自主的に参加を見合わせること（当日に書面で確認を行う）。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

② マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。）

③ こまめな手洗い，アルコール等による手指消毒を実施すること。

④ 他の参加者，主催者スタッフ等との距離（できるだけ２ｍ以上）を確保すること。（ 障害者の誘導や介助を行う場合を除く。）

⑤ 開催中に大きな声で会話，応援等をしないこと。

⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守，主催者の指示に従うこと。

⑦ 終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は，主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

（３）参加（当日）にあたり

１）体調の確認

当日の受付時に，以下の事項を記載した書面の提出及び検温のご協力をお願いします。

① 当日の体温

② 平熱を超える発熱（概ね 37.5 度）

③ 咳（せき），のどの痛みなど風邪の症状

④ だるさ（倦怠（けんたい）感），息苦しさ（呼吸困難）

⑤ 嗅覚や味覚の異常

⑥ 体が重く感じる，疲れやすい等

⑦ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

⑧ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

（４）開催当日の準備・配慮すべき事項

１）ガイドラインや注意事項等の徹底

使用施設のガイドライン及び使用上の注意事項等を遵守すること。

２）マスク等の準備

実施中のマスク着用は参加者等の判断によるものとするものの，参加受付，着替え等の競技を行っていない間，特に会話する時には，必ずマスクの着用をすること。

また，関係者や参加者は，三つの密を避けること，会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分な配慮を図る。

３）受付対応

受付時に参加者が密になることへの防止や，安全に事業を開催するため，以下に配慮して行います。

① 受付には，手指消毒剤を設置する。

② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける。

③ 参加者が距離をおいて並べるように目印を設置する。

④ 受付を行うスタッフには，マスクを着用させる。

４）会場・競技備品類

① ベンチ等は進行に支障が出ない範囲で距離を保つように設置する。

② 屋内施設（更衣室・トイレ等）において，換気の悪い密閉空間とならないよう利用人数の制限や通気口を設ける等配慮する。

③ 共有備品はできるだけ複数個用意し，こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する。

④ 感染対策とともに熱中症のリスク対策が必要です。特に，マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより，体温が上昇することがあるため，こまめな水分補給を徹底する。

５）運営スタッフの配置数及び体調確認

① 参加選手のみならず，運営に関わるすべてのスタッフの検温を実施し，上記（４）と同様の確認を行う。

６）式典等，運営の簡略化

開・閉会式は内容を簡略化するなど，必要性に応じながらも柔軟な対応をとる。

７）トイレ・手洗い場所

① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ，水洗トイレのレバー等）については，こまめに消毒する。

② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。

③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意する。

④ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。

⑤ 参加者にマイタオルの持参を求め，布タオルや手指を乾燥させる設備の使用は禁止する。

⑥ 手洗いが難しい場合は，アルコール等の手指消毒剤を用意する。

８）更衣室，休憩・待機スペース

① 広さにはゆとりを持たせ，他の参加者と密になることを避ける。

② ゆとりを持たせることが難しい場合は，一度に入室（使用）する参加者の数を制限する等の措置を講じる。

③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ，ロッカーの取手，テーブル，イス等）については，こまめに消毒する。

④ 換気扇を常に回す，換気用の小窓を開ける，通気口を設ける等換気に配慮する。

９）観客の管理

保護者の方が見学する場合には，検温の実施，マスクの着用を必須としたうえ，観客同士が密な状態とならないよう，必要に応じ，入場制限をして間隔を空けるなどの対応をとる。

（５）発熱者・感染者が発生した場合の留意事項

万が一感染が発生した場合に備え，個人情報の取扱いに十分注意しながら，参加者より提出を求めた書面（上記（３））について，保存期間（少なくとも１月以上）を定めて保存しておく。

期間中に体調不良者（発熱等）が出た場合，継続・中止の判断を含め，対応する。

また，終了後に，関係者や参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は，必要に応じてその他の関係者や参加者に対して連絡をとり，症状の確認等を行う。